



学校法人静岡理工科大学

静岡市内中小製造業10社 × 静岡理工科大学

令和7年度

静岡市中小企業等DX支援 成果発表会

中小企業10社が獲得した成果を見に来ませんか？

こんな方におすすめの発表会です。

- ・DXに興味はあるがどう始めればいい？
- ・大きなシステム導入や高額投資は難しい…
- ・Excel業務の属人化を改善したい！

現場で、本当に動いたDX

10社の課題と
取り組み内容は中面をチェック

発表会の詳細

日時

令和8年3月10日(火)

13:30~16:40

(受付開始時間:13:00)

会場

静岡理工科大学グループ
静岡駅前キャンパス4Fホール

(住所:〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地M20ビル)

タイムテーブル

「中小企業等 DX 伴走支援事業」について

- 1 伴走支援事業実施の背景(静岡市産業振興課)
伴走支援事業の流れ

- 2 10社の事例発表・質疑応答

- 3 講評

申込はこちらから

※申込期限 3/6(金)まで



お問合せ先

MAIL dx_collabo@sist.ac.jp

TEL 054-204-2499

発表予定企業(令和7年度講座受講)

さすぼし蒲鉾株式会社

株式会社金沢紙工

杉本金属工業株式会社

株式会社タキ倉庫(タキグループ)

豊樹脂工業株式会社

佐藤精工株式会社

セイリン株式会社

株式会社コーヨー化成

大日工業株式会社

山崎工業株式会社(順不同、敬称略)

主催:静岡市 / 運営:学校法人静岡理工科大学法人本部地域協働センター

静岡市中小企業等DX支援講座

現場で使えるExcel・VBAの基礎を学習

自社業務の課題を整理し、要件定義を実施

大学教員が計5回、実際の現場で伴走支援

日常業務で本当に使えるプログラムを実装

学んで終わりではなく、「現場で成果を出すDX研修」を実現

現場・講座の両輪で課題抽出・改善を促進

講義・演習の様子



大学教員・学生が企業を訪問



企業の現場への実装を支援



講座の流れ(2025年度)

会場	本学(静岡駅前キャンパス)						企業の現場		本学
講座回数	1	2～4	5	6	7	8	9	10～13	14
講座内容 (Excel/BVAや 要件定義)	講座・演習						伴走支援		発表会
	講義・演習(基礎スキル習得)					試作演習	設計	構築・テスト	成果発表
	経営者向け 講演	現状分析 (企業ごと課題抽出)		要件分析	要件定義			試使用	

① 現場業務の棚卸

属人化・手作業・無駄の洗い出し

② 要件定義

「何を」「なぜ」「どう改善するか」を言語化

③ VBA基礎・実践講座

Excelを活用した業務自動化の基礎を習得

④ 現場実装支援(全5回)

大学教員・学生が企業を訪問し、プログラム作成・改善・レビューを実施

⑤ 成果発表会

実装・効果・課題を共有

令和7年度講座受講企業10社の課題と取り組み

CASE 1 さすぼし蒲鉾株式会社 水産加工業

課題

在庫管理の効率化

在庫管理データを出荷実績・製造実績・仕入れ実績から手作業で入力しており、在庫表の作成に時間がかかる。

取り組み内容

出荷実績を自動抽出、製造・仕入れの入力を効率化

結果(見込)



時間短縮

在庫管理
作業時間を
短縮



CASE 2 株式会社金沢紙工 紙加工品製造業

課題

作業カード作成の効率化

受注した製品の作業カード(社内用仕様書)や下げ札の作成は、データがあるにもかかわらず手作業のため時間がかかる。

取り組み内容

過去データを活用し、作業カード・下げ札を自動作成

結果(見込)



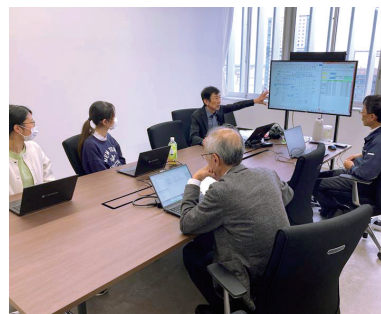
時間短縮

作成時間を
短縮



負荷軽減

作業負荷を
軽減



CASE 3 杉本金属工業株式会社 自動車・家電部品製造

課題

材料購入キ口数の 計算時間の短縮

基幹系システムの買掛データ(数量)を重量で報告する必要があるが、品目ごとに換算方法が異なり時間がかかる。

取り組み内容

マクロで品目に応じた換算係数を自動取得し換算

結果(見込)



工数削減

月1人日
削減



ミス防止

計算ミスを
防止



CASE 4 株式会社タキ倉庫(タキグループ) 運輸・保管・組立加工業

課題

障がい者雇用給付金 申請準備の効率化

申請書作成において、12ヶ月分の給与データと従業員属性を照合・集計する作業が煩雑であり、手作業によるミスが発生しやすい。

取り組み内容

給与データと各種マスタ取り込みで集計から帳票作成、印刷までを自動化

結果(見込)



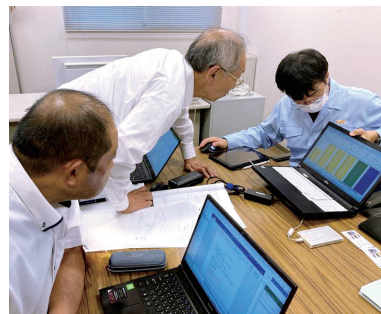
時間短縮

作成時間を
短縮



ミス低減

作業ミスを
低減



CASE 5 豊樹脂工業株式会社 プラスチック製品製造

課題

棚卸データと理論在庫の 照合作業の効率化

各担当者の棚卸データを入力し、さらに集計して理論在庫と照合する作業に時間がかかる。

取り組み内容

入力フォーマットを統一し、マクロで自動集計・照合

結果(見込)



工数削減

月3人時
削減



CASE 6

佐藤精工株式会社

金型開発・情報システム

課題

有給休暇申請・受理及び
取得日数等集計の効率化

有給休暇を紙で申請しており、
有給残日数照会や年度末の取得
日数把握に時間がかかる。

取り組み内容

申請を Excel 化し、
残日数計算・集計を
マクロで自動化

結果(見込)



月2人時
削減



申請作業を
効率化



CASE 7

セイリン株式会社

医療機器開発・製造・販売

課題

事業計画ファイルへの
前月実績値入力の効率化

基幹システムから出力される
売上などの5種類のファイルを
手作業で事業計画ファイルに
反映しているため時間がかかる。

取り組み内容

マクロで
5種類のデータを
自動反映

結果(見込)



月2人時
削減



作業ミス
を低減



CASE 8

株式会社コーヨー化成

衛生関連製品製造販売

課題

材料の所要量計算の
効率化

Excelの日単位の工程表から、
工程や製品のデータを手作業で
抽出するため時間がかかる。

取り組み内容

生産計画から
自動抽出し、
所要量を計算

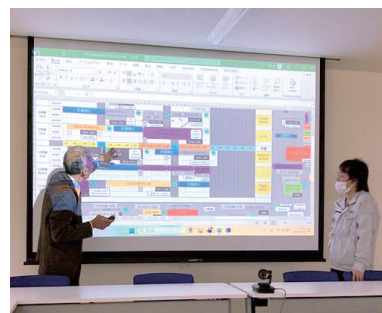
結果(見込)



作業負荷
軽減



属人化を
解消



CASE 9

大日工業株式会社

電気機械器具製造

課題

メンテナンスの
結果データから
管理資料作成の効率化

システムに保存されたメンテ
ナンスデータを、再度 Excel に
入力し管理資料を作成している。

取り組み内容

システムデータを
CSV出力し、
自動で管理資料を作成

結果(見込)



手入力による
作業負荷削減



手入力による
入力ミス削減



CASE 10

山崎工業株式会社

電子機械器具製造

課題

需要量表の作成業務の
効率化

前週の需要量をベースに、今週
の需要量、生産計画データを
手作業で貼り付けるため時間
がかかっている。

取り組み内容

前週の需要量表、
今週の需要量、
生産計画データを
自動取り込み、
需要量表を作成

結果(見込)



年50人時削減



計算ミス低減



誰でも作成可能



静岡理工科大学教授陣と学生アシスタントが徹底的にサポートし、
業務効率とスキルアップの両方を実現！